



ちょボラだより



新見市社会福祉協議会では、学童期からボランティアに興味をもつていただくために、自分にもできる「ちょっとしたボランティア“ちょボラ”」を見つけ、取組を通じて、思いやりの心やボランティア意識を育むことを目的として市内の小学生に取り組んでいただいております。今年度は、学期中の10月～12月に実施し418名の児童が取り組みました。

➤ 今年度取り組み校 15校 児童数 418名 (ノート提出 397名)

学校名	取組学年	学校名	取組学年	学校名	取組学年	学校名	取組学年
千屋小学校	1～6年生	草間台小学校	5・6年生	本郷小学校	4～6年生	矢神小学校	3・4年生
西方小学校	4～6年生	井倉小学校	5・6年生	新砥小学校	1～6年生	神郷北小学校	3～6年生
上市小学校	4～6年生	高尾小学校	4～6年生	萬歳小学校	3・4年生	野馳小学校	4年生
新見南小学校	4～6年生	思誠小学校	4年生	神代小学校	3～6年生	継続15校	

➤ 取り組みの集計結果

これまでのちょボラはボランティアの内容を選んで取り組んでもらっていましたが、今年度はヒントを元に、自分自身で考えた内容のちょボラに取り組んでいただきました。以下の表は子ども達に取り組んでくれたちょボラの内容です。

ちょボラ内容	人数	延べ回数
① 地域の人にあいさつができた	237人	4,944回
② 地域の人に声かけをした	38人	164回
③ まちをきれいにする活動をした	221人	1,804回
④ リサイクル活動をした	113人	742回
⑤ 思いやりのある活動をした	68人	251回
⑥ お家で出来るお手伝いをした	137人	2,611回
⑦ 学校で出来る活動をした	55人	526回
⑧ その他(イベントに参加する等)	70人	136回
⑨ チャリティー活動	38人	128回

他にもこんなちょボラをしたよ♪

- ・ベルマークを集めた
- ・雪かきをした
- ・鍵盤ハーモニカを寄贈した
- ・お年寄りに順番を譲った

ちょボラに取り組んだ児童の感想

- ・今は、コロナで出かけることが少なくなり、人と会うことも少なくなったけど、今できることを考えて行動できたと思う。
- ・はじめは「ちょボラってどうやったらいいの?」となかなかイメージがわかなかったけど、やっていくうちに、相手や周りの人に喜んでもらえることがちょボラだと気づくことができました。
- ・最初は毎日やるのは大変だったけど、途中から友達と一緒にちょボラをやっていて楽しくなりました。



家族のこぼれ

- ・どんなことがちょボラになるのかを考えることで、普段している何気ない行動を自分で振り返る機会になっていたと思います。
- ・相手の気持ちになって、役に立てるように行動しようとする姿勢が少しずつ身についている様子が頼もしいです。



今年度のちょボラは、学校とより一層連携を取ることや、子ども達に自由な発想でボランティアに取り組んでほしいという思いから、実施期間を学期中の10月～12月に設定し、内容はヒントを元に自分で考えて取り組んでもらうこととしました。

昨年度とガラッと変わるので、子ども達にしっかりと取り組んでもらえるか心配していましたが、集まったちょボラノートを見ると友達を誘って一緒にちょボラに取り組んだり、お家の人と話し合ったり、内容を工夫していたりと子ども達それぞれ自分ができるちょボラを実践しており、子ども達の「やさしい思い」が伝わってきました。またご家族も、お子さんが自ら進んでちょボラをしている様子を見て、成長を感じていただくことができました。

このちょボラを通して、自分にもできるボランティアがたくさんあることに気づいてくれるとうれしく思います。

がんばったね!

～ゴミ拾いに取り組んだ男の子のご家族からのコメント紹介～

学校から帰宅後、「友達と公園にゴミ拾い行ってくるけえ」と何度も出たり、**ゴミの分別に自主的に取り組んだり**、意欲的なちょボラ期間だったと思います。不思議なことに**公園のゴミは拾っても拾ってもある!!**本人もそのことに関するアンテナが活発になり、**今も出かけた時は「今日もゴミがあった」と拾ってきます。**

そして、最近では、ゴミがあるかもしれないから**ナイロン袋をかばんに入れて出かける**ことも。

環境への気づきと心がけが生まれてとても感心しました!